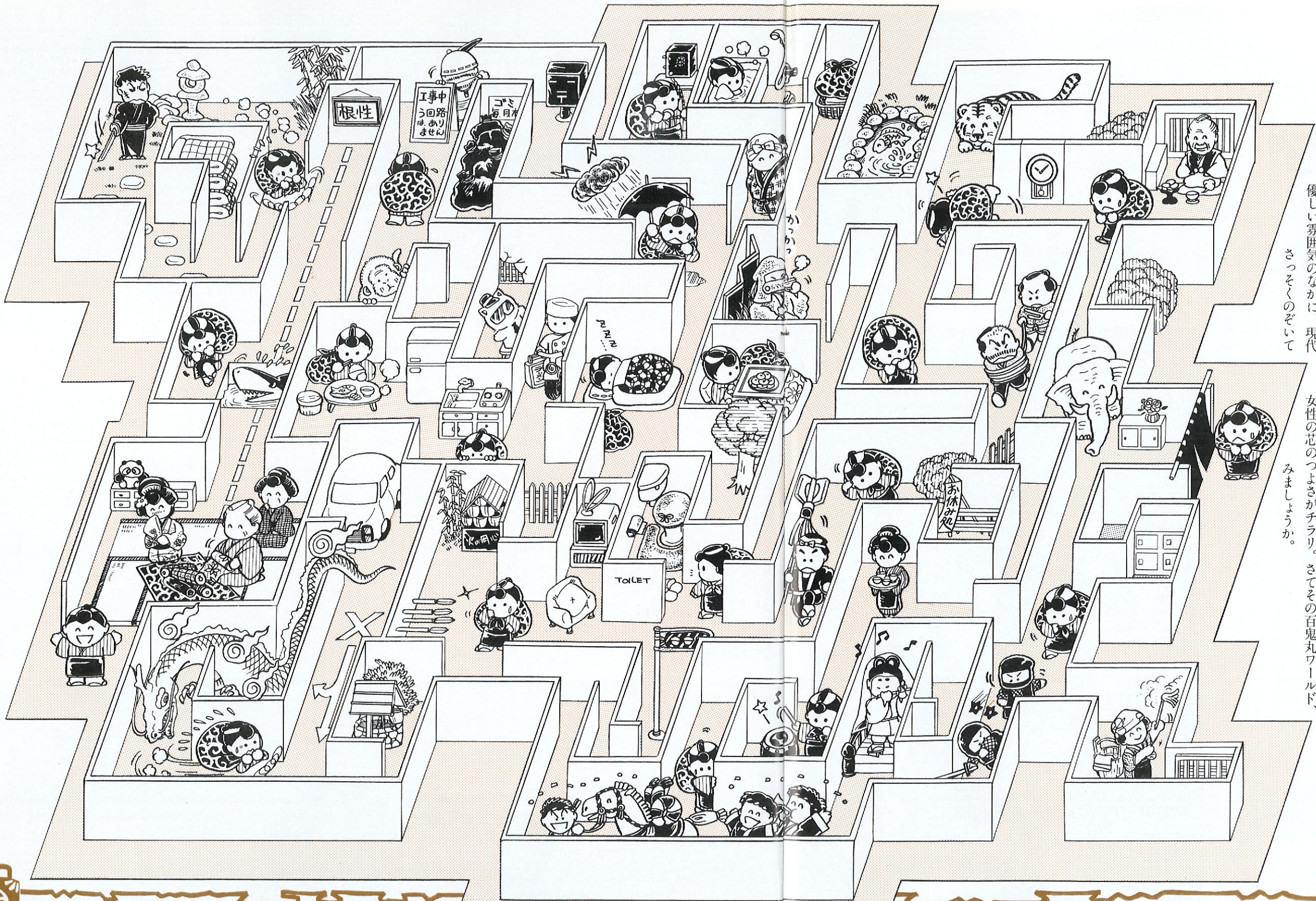


よくいえば、マイペース。 悪くいえば我がまま・かな。 私の性格。

百鬼丸として——郷土SF作家榎尾真治さんと組んで、ユーモアとウィットに富んだイラストを描きとばし、本名ではショートショートにも挑戦中。でも実際は薬剤師が本業とか。まさに八面六臂の活躍について、ご本人は何でもない様子です。「好きなんです。薬剤師もイラストも。つらいときにはどちらかが助けてくれる。とにかく、何事もこだわらないことが、信条です。」

優しい雰囲気の中に、現代さっそくのぞいて

女性の芯のつよさがチャリ。さてその百鬼丸ワールド、みましょうか。



●プロフィール ●生年月日 一九五八年十二月十四日
●血液型 典型的O型(本人の弁による) ●出身地 天草郡苓北町 ●本名 林田 斗与子
イラストレーター「百鬼丸」 子供の頃からマンガが大好きで、学校の机、教科書ノート、あらゆるものに書きまくっていたという。
熊大在学中、師匠カジンと出会い、「百鬼丸」誕生。
現在、熊本市細工町にある調剤薬局に勤務のかたわら、イラストを描いている。花の独身、快適な独り暮らしを満喫中。

松吉の冒険

丁稚松吉 手代への道

巻

僕、松吉。呉服問屋肥後屋の丁稚です。
今日は、お得意様の油問屋、貝印屋さんにご注文の反物を持っていかねければなりません。
でも、貝印屋さんのお家はとっても変わった造りをしていて、旦那様のいる畳の間まで無事に辿り着く事は、とても難しいんです。
貝印屋さんの家の中で道を失い、泣きながら帰って来た丁稚や手代も大勢います。そのまま帰って来なかった人も何人かいる様です。
ですからこのおつとめは命がけなんです。なんとか帰って来た人たちの話では、貝印屋さんのお家は、複雑

な迷路の様な造りをしていて、旦那様が新しモノ好きなので、いろんな変わったモノがあるそうなんです。
鼻長鼻長とか大猫大猫とかの動物、また、南蛮南蛮から電気もひいてあって、電気電気絵とか、電気冷箱電気冷箱とかの舶来品もたくさんあるそうです。今度は絵留箱絵留箱も新しく購入されるという話です。

式

廊下の隅では、時々忍者が死闘を演じているそうですし、用心棒の浪人は刀を抜いて襲って来るし、悪代官はお茶を飲んでるし、N T Tはあるし、トイレは水洗だし、竜竜はあばれているし、そして九月にはホシタ祭りまでねり歩くんだそうです。

こんなに大変なお家なんです、それだけに、このおつとめを無事に果たす事ができたら、手代への道も近くなるんです。
肥後屋のお嬢さんにも、笑顔で待つてるわ、と言ってもらいます。

松吉、頑張つて商いしていきます!